

地域貢献活動の考え方

あいしんは、名古屋市と名古屋市周辺の市町村を中心とした地域を営業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資産(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域社会の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

社会的責任と貢献活動

信用金庫は、相互扶助の精神に基づいて、協同組織金融機関として地域の中小企業や住民の方々に必要な金融サービスを提供し、その経済的発展と地域社会の繁栄に奉仕することを社会的使命としております。

地域とともに歩む信用金庫として、当金庫では、お客様から信頼される金融機関となるべく、コンプライアンス(法令等遵守)の徹底をはかり、適正な業務運営を第一とし、経営の健全性を確保しつつ責任と誇りを持って業務に邁進するよう、努力しております。

また、当金庫は地域に根ざし、地域社会の一員として共存共栄することを本分とし、産業、生活、文化、福祉等のいろいろな分野において貢献したいと願っており、地域におけるイベントなどへ積極的に参加しております。



愛知信用金庫
常勤役員数…255名
店舗数…21店舗(うち出張所1)

貸出金・支援サービス

地域経済の活性化

預金積金・出資金



お客様・会員
会員数…13,565名
出資金…424百万円

貸出金(運用)

お客様からお預け入れいただいた預金積金につきましては、お客様の幅広い資金ニーズにお応えし、地元中小企業の健全な発展や豊かな暮らしのお手伝いをすることを使命と考え、円滑な資金の供給を行う形で、お客様や地域社会への還元を行っております。設備資金に40,519百万円、運転資金に48,693百万円をご融資しております。

- 貸出金残高…89,212百万円
- 預金積金に占める貸出金の割合…36.88%

預金積金

あいしんの平成28年3月末の預金積金の残高は2,418億円です。お客様からお預かりした大切なご預金は、みなさまから信頼をいただいている証であります。お客様の大切な財産の運用を安全に、確実に、気軽にご利用いただけるように、また、目的や期間に応じて選択いただけますよう各種預金を取り揃えております。

- 預金積金残高…241,845百万円

貸出金以外の運用に関する事項

あいしんはお客様のご預金を、ご融資による運用の他に有価証券による運用も行っております。

- 預証率…51.50%
- 有価証券残高…124,572百万円

今期決算に関する事項

今後も、健全経営に徹し、お客様が安心してお付き合いいただける金融機関を目指してまいります。

- 業務純益…518百万円
- 経常利益…410百万円
- 当期純利益…347百万円
- 自己資本比率…14.76%

あいしん トピックス

あいちのお菓子総選挙

平成27年11月1日・2日開催

愛知県のお菓子産業の活性化に向けた当金庫の地方公共団体連携型広域展示販売・商談会事業の一環として、栄オアシス21で「第1回あいちのお菓子総選挙」を開催しました。

愛知県や名古屋市、(公財)あいち産業振興機構、愛知県商工会連合会、中日新聞社のご後援と名古屋学院大学、愛知産業大学のご協力を得て37社がこだわりのお菓子を販売しながらアピールした結果、2日間で32,000人以上の来場者があり、報道機関・大手百貨店など多くの方々に注目をさせていただきました。

また、当日のイベント以外にも各種セミナーや地元お菓子に関する様々な講演会を実施したり、愛知産業大学のご協力により、学生らが商品パッケージのアイデアを提供して商品開発の参考にしていただく個別支援策、ミラサポの専門家派遣制度を利用しての経営支援、販路開拓のサポートを行いました。



応援します!あなたの街で

地域創生に向け「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を重視し、地域社会の活性化に貢献できるような様々な活動に積極的に取り組むと共に皆様に親しまれる『あいしん』を目指しています。



あいしんでは、地域経済の活性化や健全な発展のためには、地域の中小企業・小規模事業者のみならずが事業拡大や経営改善等を活性化していくとともに、地域金融機関を含めた地域の関係者が連携・協力しながら中小企業・小規模事業者のみならずの経営努力を積極的に支援していくことが重要であると考えております。そのなかでも特に、地域の情報ネットワークの要であり、人材やノウハウを有する地域金融機関においては、資金供給者としての役割にとどまらず、地域の中小企業・小規模事業者のみならずに対する経営支援や地域経済の活性化に向けて積極的に貢献していきたいと考えております。

このため、あいしんでは地域密着型金融の推進をビジネスモデルのひとつとして明確に位置づけ、当金庫の規模や特性、当金庫をご利用いただいているみなさまの期待やニーズ等を踏まえて自主性・創造性を発揮しつつ、「顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮」「地域の面的再生への積極的な参画」「地域や利用者に対する積極的な情報発信」の取り組みを中長期的な視点に立って金庫全体として継続的に推進することにより、顧客基盤の維持・拡大、収益力や財務の健全性につなげてまいります。

また、地域密着型金融を組織全体として継続的に推進していくためには、本部による営業店支援、外部の専門家や外部の専門機関との連携、職員のモチベーションの向上に資する評価、専門的な人材の育成やノウハウの蓄積といった推進体制の整備を図ってまいります。

①顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

あいしんは、資金供給者としての役割にとどまらず、お客様との長期的なお取引関係を通じて蓄積された情報や地域の外部専門家・外部機関等とのネットワークを活用してコンサルティング機能を発揮することにより、お客様企業の事業拡大や経営改善等に向けた自助努力の支援を最大限図ってまいります。

②地域の面的再生への積極的な参画

あいしんは、当金庫をご利用いただいているみなさまや各種関係機関との日常的・継続的な接触を通じて得られる各種の地域情報を収集・蓄積しつつ、地域経済の課題や発展の可能性を把握・分析して、自らが貢献可能な分野や役割を検討し、地方公共団体や各種団体に対して情報・ノウハウ・人材を提供、各種連携をしながら地域的、広域的な活性化プランを策定すること等により、地域の面的再生に向けて積極的な役割を果たしてまいります。

③地域や利用者に対する積極的な情報発信

あいしんは、当金庫によるコンサルティング機能や長期的・安定的な金融仲介機能の提供が期待できることや、地域の面的再生への積極的な参画に関する取り組みを発信し、地域の経済や社会に対して責任ある立場を保持し続けるという意味を表明することにより、当金庫をご利用いただいているみなさまの信頼や支持を高めていきたいと考えております。このような情報発信を通じて、地域密着型金融の取り組みに対する理解を深め、金利競争に陥ることなく個性的なサービスを推進し、地域における評価を確立していくことによりお客様の基盤維持・拡大を図り、収益力や財務の健全性の向上につなげてまいります。

●平成27年度地域密着型金融の取組みとして、以下の3つの項目を掲げ推進してまいりました。

1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

企業のライフステージの最初となる創業・新事業開拓を目指す方々に対する取組については、平成26年度に引き続き平成27年度も地域創業促進支援事業に応募し、平成27年8月～11月に「あいしん創業スクール」(ベーシックコースおよび女性起業家コース)を開講いたしました。平成27年度においては、平成26年度に受講された方3名と平成27年度に受講された方5名の計8名が創業に至っております。

地域社会活性化につながる多様なサービスの提供として、補助金による公的支援事業である地方公共団体連携型広域展示販売・商談会事業を利用して、平成27年11月1日・2日に「あいちのお菓子総選挙」を当金庫主催で名古屋栄オアシス21にて開催いたしました。地元愛知県のお菓子製造業を応援する事を目的に、愛知県や名古屋市、(公財)あいち産業振興機構、愛知県商工会連合会、中日新聞社のご後援を得て37社がご協力のお菓子を販売しながらアピールした結果、多数の報道機関や大手百貨店等の関係者も来場し注目されました。来場されたお客様においてもお気に入りのお菓子に投票してもらった総選挙やイベントを実施し、愛知の食文化を再認識してもらい、お土産としてのお菓子の魅力発信につなげました。また、出展された事業者のうち希望された方々には、愛知産業大学のご協力により、学生らが商品パッケージのアイデアを提案してもらったなど、地元大学と地元企業の連携にも協力をいたしました。そして、ミラサポの専門家派遣制度を利用して、経営支援の一環として企業の強みを『見える化』するために「経営レポート」を作成し、その経営レポートを基に経営支援を専門家と連携し販路開拓のサポートを行いました。

その他、「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」に参加して上級アドバイザーの派遣を依頼し、お取引先4社に対して計17回、企業支援室長が営業店長とともに支援先を訪問し、困難な課題を抱える支援先に対して、課題解決に向けたコンサルティングを実施いたしました。

2.地域の面的再生への積極的な参画

地域金融機関は、成長分野の育成や産業集積による高付加価値化などの地域の面的再生に向けた取組みに積極的に参画することが期待されております。あいしんでは、専門的な金融手法や知識等のノウハウを持つ専門的な人材の育成や活用方法として、「知的資産経営」、「事業計画書の作り方」及び「補助金申請のポイント」についてのセミナーを実施いたしました。

また、地方創生に向けて、椋山女学園大学のイベント「ソングラウン・NAGOYA in 星が丘」に協賛し、地元西山商店街の活性化の為、地元大学と商店街、専門家との関係構築や商店街の発展の為に協力をいたしました。

今後も街の中の空き家店舗に椋山女学園大学の学生起業家が開業する取り組みにも関与していく予定です。

3.地域や利用者に対する積極的な情報発信

地域金融機関は、地域密着型金融の取組に関して、具体的な目標やその成果を地域やご利用の方々に対して積極的に情報発信していくことが重要であります。その情報発信のひとつとして、各新聞社に対してのニュース・リリースや、平成27年7月下旬に発行したディスクロージャー誌「AISHIN REPORT 2015」、平成27年11月下旬に発行した上半期ディスクロージャー誌「AISHIN REPORT 2015.9」、当金庫のホームページを活用して、多くのみなさまに当金庫の取り組み内容を発信しております。